

第 3 学 年 図 画 工 作 科 学 習 指 導 案

3 年 1 組 指 導 者 今 津 圭 佑

題 材 あの日あの時の気持ち

1 本題材で子供が働かせる各教科等の見方・考え方

発想や構想

2 本題材について

幼少期の子供は、自由に発想や構想をしながら、絵に表すことを楽しんでいる。しかし、学年が進むにつれ、自分の表したいことを思い付くことができず、困る姿が見られるようになる。その原因の一つに、図画工作科の絵に表す活動において、発想や構想の過程を十分に経験せずに、作品の完成のみをめざして製作に膨大な時間をかけることが挙げられる。だからこそ、発想や構想の過程に重きを置くことで、図画工作科の絵に表す活動においても、楽しく取り組むことができるであろう。その際、物事だけでなく経験やその時の気持ちにまで自分のイメージを膨らませることで、豊かに発想や構想をすることができる。このことは、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わりながら、自分のイメージを膨らませ、自分なりの意味や価値をつくりだすことにつながると考える。

本題材は、季節のよさについて絵に表す学習である。子供たちは、季節のイメージについて、いろいろな物事を思い浮かべるであろう。その際、経験やその時の気持ちを想起するよう促すことで、自分のイメージを膨らませながら、豊かに発想や構想をすることができると思う。また、製作を進める中で、表したいことや表し方について繰り返し話し合い、発想や構想をすることを大切にしたい。そうすることで、より一層自分のイメージを膨らませながら、自分の表したいことや表し方について考えることができるであろう。そして、子供たちが、豊かに発想や構想をする姿を期待したい。

そこで、以下のような支援を具体化し、本題材でめざす子供の姿の実現を図る。

- 季節のよさについて話し合う際、経験やその時の気持ちを想起するよう促す。そうすることで、自分のイメージを膨らませながら、豊かに発想や構想をすることができるようにする。
- 自分の表したいことや表し方を思い付くことができた理由を問うことで、自分のイメージを膨らませながら、豊かに発想や構想をしていたことに気付くことができるようにする。
- 製作途中の作品について全体で鑑賞を行い、表したいことや表し方について話し合う場を設定する。そうすることで、自分のイメージを膨らませながら、豊かに発想や構想をすることができるようにする。

3 本題材の目標

- 自分のイメージを膨らませながら、豊かに発想や構想をすることができるようにする。
- 生活や社会の中の形や色などと豊かに関わりながら、自分のイメージを膨らませ、自分なりの意味や価値をつくりだそうとする態度を養う。

4 本題材における評価規準

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
○季節のよさを形や色などに着目して捉え、表し方を工夫して表している。	○季節のよさについて、自分のイメージを膨らませながら、豊かに発想や構想をしている。	○自分のイメージを膨らませながら、自分の表したいことを進んで表そうとしている。

5 指導計画（全 4 時間）

第 1 次 季節のよさについて絵に表す（4 時間）【本時 3 / 4】

6 本時案 【令和4年11月25日 11:10~11:55 3年1組教室】

- (1) ねらい 表したいことや表し方について話し合うことをとおして、自分のイメージを膨らませながら、豊かに発想や構想をすることができるようにする。
- (2) 学習過程 ※下線は支援に対応する子供の意識

学習活動・学習内容	子供の意識	○教師の支援
<p>1 表したいことや表し方について話し合う。(15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の表したいことや表し方 イメージを膨らませながら、豊かに発想や構想をすること  <p>2 絵に表す。(25分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分なりの表し方 自分のイメージを膨らませながら、豊かに発想や構想をしていたこと <p>3 本時の学習を振り返る。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分のイメージを膨らませることの活用への意欲 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> <p>どのように表せばよいのかな。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> みんなのかいている絵を見てみよう。 <p>B まずは、Aさんの絵だ。冬の絵だね。</p> <ul style="list-style-type: none"> かわいい雪だるまをかいているね。何を表しているのかな。 <p>A 冬なのに温かくて幸せな感じを表したいのだよ。雪だるま作りで温かくなったんだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 私だったら自分や家族の笑顔をかくよ。そうすると幸せを表すことができそうだよ。 <p>A <u>そういえば、お姉ちゃんもうれしそうにしていたな。お姉ちゃんもかいてみよう。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 周りの色は温かい色がよいね。温かさや幸せというと、ピンク色や黄色かな。 <p>A みんなのおかげで表せる気がしてきたよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> よし、近くの席の人と、絵について話し合いながらかいていこう。 <p>B ぼくは冬の楽しさを表したいからスキーをかいたよ。どうすればもっと表せるかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> 冬の楽しさを表すのか。Bさん、スキーの他に楽しかったことはなかったかな。 <p>B 雪合戦が楽しかったな。そうだ、雪合戦もかくと、楽しい感じをもっと表せるね。</p> <ul style="list-style-type: none"> 楽しい絵になりそうだね。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>どうして表し方を思い付くことができたのかな。</p> </div>  <p>B 話し合って、表したい気持ちに合わせて出来事を思い出したからだよ。</p> <p>A <u>表したいことのイメージが膨らんで、もっとよい絵にできそうだね。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> よし、その時の出来事や気持ちを思い出しながら、続きをかこう。 <p>A 私は、二人が仲良く遊ぶ幸せな感じを表すために、もう一つ雪だるまをかいたよ。</p> <p>B 楽しさについてのイメージを膨らませることで、雪合戦も思い出すことができたよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 表し方を思い付けて、うれしかったな。 <u>次の時間も、イメージをもっと膨らませながら、よい絵にしていきたいな。</u> 	<p>○製作途中の作品について全体で鑑賞を行い、表したいことや表し方について話し合う場を設定する。そうすることで、自分のイメージを膨らませながら、豊かに発想や構想をすることができるようにする。</p> <p>○自分なりの表し方を思い付くことができた理由を問う。そうすることで、自分のイメージを膨らませながら、豊かに発想や構想をしていたことに気付くことができるようにする。</p> <p>○自分のイメージを膨らませることを視点に振り返るよう促す。そうすることで、より一層自分のイメージを膨らませながら絵に表そうとすることができるようにする。</p>

